

③-1) 地方創生交付金関係（先行型・上乘せ交付金タイプⅠ・Ⅱ） 個別実績表

【資料 1】

平成 27 年度繰越 地域住民生活等緊急支援交付金事業

□地域消費喚起・生活支援型

事業名	事業期間	事業の概要	事業K P I	所管課	事業実績の概要	実績K P I
消費喚起プレミアム商品券発行事業	H27.4 ～ H28.3	商工会議所及び商工会がプレミアム付商品券を発行するための補助。 【内容】 プレミアム率 20%、1,000 円券 12 枚綴 46,000 冊発行（会議所管内 29,900 冊・アルプス管内 16,100 冊） 一人最高 100,000 円まで	552,000,000 円の消費喚起	商工観光課	竹田商工会議所・九州アルプス商工会商品券事業協議会が事業実施主体となり、地域における消費喚起を図り景気の回復を促すとともに、地域内の経済循環を創出するため、竹田市市制 10 周年を記念してプレミアム付き商品券を発行することができた。 【内容】 □発行総額：552,000 千円 □プレミアム率：20% □額面価格：1 千円/商品券 1 枚 12 千円/商品券 1 冊、12 枚/1 冊 □販売価格：10 千円/商品券 1 冊 □発行冊数：46,000 冊 （会議所管内：29,900 冊） （商工会管内：16,100 冊） □発売期間：H27.7.1-H27.7.9 □利用期間：H27.7.1-H27.12.31 □販売場所：竹田市内 4 ヶ所 □利用地域：竹田市内 □購入限度：100 千円/1 人 □購入者：地域制限しない	プレミアム率 20% という関心の高さと事前告知が効果的に行われたため、552,000 千円分の商品券が 9 日間で完売した。竹田市内において、販売された全商品券利用が当初の目的であったが、換金実績を見てみると、550,966 千円（換金率 99.812%）となり、未換金も発生した（未換金額 1,034 千円）。 今回のプレミアム商品券事業にあわせ、消費者アンケートを行った。プレミアム商品券購入者全員（4,773 人）にアンケート用紙を配布し、

				<p>□利用制限：商品券には共通券、制限券を設けることによる大型店での利用制限は設けないが、地元中小企業者で商品券が優先的に利用されるように、地元中小企業者で利用された方にさらにW抽選の特典を設けることとした。</p> <p>□取扱店舗数：508 店舗 （会議所管内：262 店舗） （商工会管内：246 店舗） （うち大型店：6 店舗）</p> <p>□広報方法：新聞折込、市報、ケーブルテレビ、会報</p> <p>□換金方法：振込又は小切手</p> <p>□換金率：99.81%</p> <p>□換金期間：H27.7.10-H28.1.29</p> <p>□事業成果：夏の中元売り出し・年末商戦に合わせ発行することで、景気の腰折れ低迷を防ぐため消費喚起を図るとともに、中小企業の利用促進による地域内の経済循環を創出することができた。</p>	<p>856 通（有効 733 通、無効 123 通）の回答を得た（回収率 17.9%）。集計した結果、商品券での支払いに合わせ追加支出した現金等の合計は、8,810 千円に上っていることから、商品券利用が契機となり地域内に現金が循環したという結果が出た。これは一定の成果と言える。また本事業の継続を望む声が 94.8%あることも判明した。事業所アンケートも同時に実施しており、売上げにはあまり変化がなかったが、顧客とのコミュニケーション強化が図られたとの結果もでている。</p>
--	--	--	--	---	--

□地方創生先行型

事業名	事業期間	事業の概要	事業K P I	所管課	事業実績の概要	実績K P I
道の駅機能拠点強化事業	H27.4 ～ H28.3	地域の拠点施設として利用客数の更なる増加や産業の振興を図る機能強化対策を実施する。	道の駅利用者数：3%増	農政課	<p>●事業費 18,530,760円</p> <p>道の駅竹田利用者数 (レジ通過者数)</p> <p>平成26年度 155,830人 平成27年度 158,803人</p> <p>道の駅竹田の利用者数を平成26年度と平成27年度を比較すると約2%増となっている。</p> <p>ブランドパッケージ開発等による販売促進や情報発信コーナーの整備、無料公衆無線LANを設置し道の駅の機能強化を行ったことで、利便性が高まり集客力の向上に繋がったと思われる。</p> <p>また、駐車場整備事業に関しては、大型バスを含めた収容台数の増加に加えて、道の駅の視認性向上効果も見込め更なる集客率の向上が期待される。工事完了が3月末であったため上記利用者数には反映されていないが、今後事業効果を見込むことができる。</p>	2%増
宿泊施設・観光施設等における無料公衆無線LANの設置事業	H27.4 ～ H28.3	無料公衆無線LANに対するニーズに応えるため、宿泊施設や観光施設等の設置に係る費用の支援を行う。 ・1機当たり2万円を上限。	無料Wi-Fiの設置施設数：40件	商工観光課	<p>●事業費 180,000円 9件×20千円</p> <p>宿泊施設、特にインバウンド受入の多い農家民泊等に支援を実施。県の無線公衆無線LAN設置事業</p>	観光客数 3,320,674人(H27) 3,225,003人(H26) 前年度比103%

					もあり、工事費の大きい施設はそちらの事業を実施したため、目標数値に達しなかったが、市内の観光施設、宿泊施設の設置率が格段に上がったため、情報収集、SNSへの情報発信が格段に高まった。	
地域における保育環境の改善事業	H27.4 ～ H28.3	保育環境の改善を図るため、施設環境の改修・修繕、屋外遊具の改修・修繕、保育備品の充実などに必要な支援を行う。 市内所在する9園を対象とする。	子育て世帯の施設利用に係る満足度：100%	社会福祉課	<p>●事業費 9,399,648円</p> <p>保育環境改善事業保育所空調機取替工事設計業務委託 496,800円</p> <p>竹田保育所空調機取替・遊具修繕・遊具購入 632,400円</p> <p>荻保育所暖房機取替・トイレ修繕・遊具修繕・遊具購入 911,080円</p> <p>白丹保育所空調機設置・備品購入 1,776,168円</p> <p>保育環境整備事業費補助金(5園) 5,000,000円</p> <p>内訳</p> <p>小羊保育園 遊具塗装・調理室塗装・遊具用マット購入 1,293,762円に対し1,000,000円</p> <p>都野保育園 幼児用マルチシンク設置 1,294,827円に対し1,000,000円</p> <p>なおいり保育園 孔雀小屋移築・遊具塗装・遊具及び図書購入 1,325,280円に対し1,000,000円</p> <p>玉来保育園 LEDレリーフ掲示板・カーポート設置</p>	アンケート予定

					<p>1,047,600 円に対し 1,000,000 円 あさひヶ丘保育園 保育用備品・ 音楽教材等備品購入 1,024,286 円に対し 1,000,000 円</p> <p>各園のニーズに沿った、遊具等の 充実及び施設設備の改修を実施し 保育環境の改善が図られた。</p>	
移住者居住支援 事業	H27.4 ～ H28.3	市への移住を後押しするため、県外からの 移住に必要な住宅の新築・購入、改修費用 や移転費用等に対して必要な支援を行う。 ・補助上限額を定め、県 1/2、市 1/2	移住定住に ついての相 談件数の増 加と移住実 績：5 件	企画情報課	<p>●事業対象経費 1,100,000 円 ●うち県補助 550,000 円 (1/2 市費、1/2 県費) 補助内容の内訳 ・改修補助 1 件 1,000,000 円 ・家財処分補助 1 件 100,000 円</p>	27 年度実績 空き家バンク利用登 録者数 108 名 移住実績 47 名 (27 組) バンク累計 737 名 移住累計 151 世帯 276 名
おおいた子育て ほっとクーポン 活用事業	H27.4 ～ H28.3	子育て支援サービスの利用を通じた子育て 世帯の精神的・身体的・経済的負担の軽 減を図り、子育てサービスの周知を行う。 ・平成 27 年度中に出生した子どもに 1 万円、県 1/2、市 1/2	子育て支援 サービスをして いる人の割合： 63.6%	社会福祉課	<p>●事業経費 135,000 円 うち県補助 67,000 円</p> <p>一時預かり、ファミリーサポート センター育児支援月刊誌配本事業 等の利用料として利用された。 270 枚×500 円</p>	50.4%
食品産業地域連 携推進事業	H27.4 ～ H28.3	食品加工企業の成長を促進するため、生産 者や地域金融機関との連携の下、生産性の 向上に必要な機械化に対して支援を行う。 ・県 1/3、市 1/3 (補助限度額 500 万円)	支援企業の 売上伸び 率：5%増	企画情報課	<p>●総事業費 14,820,960 円 ●補助対象経費 13,824,000 円 ●補助金額 9,670,000 円 (内 1/2 県費) 市内 2 業者が融資を受け食品加工 に係る設備投資を行った。 ・ [REDACTED] 13,458,960 円 ・ [REDACTED]</p>	[REDACTED] 何 れも設備投資後数ヶ 月。実績 KPI につい て現在は計り難い。

					1,362,000 円	
農村回帰移住・定住支援事業	H27.4 ～ H28.3	本市への移住・定住を促進するため、移住定住相談会を東京・大阪・福岡で開催する。また、農村回帰フェアを東京・大阪で開催し、積極的な情報発信を行う。	情報発信件数の増、移住・定住相談件数：5%増	企画情報課	相談会実績 計8回 (H26：3回) ○内訳 東京都 5回 神奈川県 1回 京都府 1回 福岡県 1回	相談会を積極的に開催した結果、相談件数が大幅に増加(40%増)した。 件数：137件
国民保養温泉地再生プロジェクト事業	H27.4 ～ H28.3	新しい滞在型、週末移住型の観光地としての仕組みづくりと情報発信を行い国民保養温泉地として、温泉地域の再生を図る。 ・温泉等の地域資源の調査・研究事業 ・ホームページやメディア等への情報発信 ・地域住民向けのシンポジウム開催 ・多様な市民と協働で行うイベント開催	温泉施設等を利用する観光客数：3%増	商工観光課	●総事業費 3,497,040 円 ・FNS九州ブロックネット特番放映業務委託 ・竹田式湯治博覧会事業業務委託 国民保養温泉地「竹田温泉群」と着地型コンテンツの紹介等をTVやHP、SNSを通じて情報発信を実施。	大分県観光動態統計 温泉施設利用者数 664,005人 (H27) 590,147人 (H26) 前年度比 113%
新たな戦略的観光コンテンツの磨き上げ事業	H27.4 ～ H28.3	シニアとヤングのターゲットごとの新しい観光コンテンツの整備や既存コンテンツの磨き上げを行い、観光誘客を促す。 ・新たな移動手段の実証実験事業 ・ガイド養成、人材育成事業 ・スポーツ等を目的にした新しい観光プログラムの開発 ・ホームページ等の情報発信ツールの作成	観光客数：3%増	商工観光課	●総事業費 2,489,827 円 ・登山バス運行委託 ・新たな戦略的観光コンテンツの磨き上げ業務委託	観光客数 3,320,674人 (H27) 3,225,003人 (H26) 前年度比 103%

□地方創生先行型（上乘せ交付タイプⅠ）

業名	事業期間	事業の概要	事業KPI	所管課	事業実績の概要	実績KPI
世界に冠たる日本の温泉資源活用による「国民の健康づくり」と「予防医療の増進」「新たな観光戦略」事業	H27.10 ～ H28.3	①竹田版“温泉利用型健康増進エリア”構築戦略とクアオルト構想の確立 ②温泉療法専門医とコラボしたミニクアハウス基本構想・基本設計策定 ③インストラクター養成プログラムによるスキルアップと人材育成 ④飲泉・温浴の効果を立証していくための医科学研究 ⑤ストーリー性高い「温泉力」の情報発信によるブランド化と集客戦略	○温泉利用型健康増進エリア構想・ミニクアハウス基本構想・設計作成及びエビデンス検証（アウトプット） ○インストラクター養成講座カリキュラム作成によりインストラクターを目指す者の数 10名 ○情報発信により竹田を知りたいと問い合わせがあった人の数平成26年度の2倍を目指す ○本事業による企業誘致 1社	商工観光課 保険健康課 直入支所 地域振興課	①事業費 3,200,000円 ・竹田市クアオルト構想策定業務委託 ②事業費 5,076,000円 ミニクアハウス基本構想・基本設計 竹田版“温泉利用型健康増進エリア”構築戦略とクアオルト構想の確立に向けた温泉利用型健康増進施設の基本構想及び基本設計 ③事業費 3,024,000円 1.竹田市総合インストラクター養成会議（2回実施） 2.温泉入浴指導員養成講座実施（竹田市で実施 1回） 31名取得 3.竹田市総合インストラクター養成講座シラバス作成 ④事業費 8,100,000円 ・長湯温泉の飲泉・温浴に関する効果検証及び調査業務委託 ⑤事業費 10,378,800円 ・各種プロモーション 8件	○竹田市クアオルト構想 策定済 ○総合インストラクターを目指すもの 10名 ○パンフレット送付請求件数 1,371件（H27） 786件（H26） 前年度比174% ○本事業による企業誘致 1社

□地方創生先行型（上乘せ交付タイプⅡ）

事業名	事業期間	事業の概要	事業K P I	所管課	事業実績の概要	実績K P I
肉用牛生産基盤拡大緊急支援事業	H27.10 ～ H28.3	「おおいた豊後牛」の安定供給に向け、繁殖農家の生産基盤を強化するための緊急増頭対策 ・県2/3、市1/3 (補助単価 10.5万円)	繁殖雌牛増頭110頭規模	畜産振興室	優良繁殖雌牛を増頭することで生産基盤の強化が図られた。 3,710,000円	110頭に対し106頭の増頭が図れた。96.3%の実施率
おおいた豊後牛品質向上対策事業	H27.10 ～ H28.3	高品質で美味しい「おおいた豊後牛」の銘柄確立のため、県有種雄牛の精液を活用した人工授精及び受精卵移植に要する経費の助成 ・県1/3、市1/6 (人工授精補助単価 18千円) (受精卵移植補助単価 240千円)	県有種雄牛100頭規模の品質向上対策	畜産振興室	未実施 希望農家はいたが、母牛の対象要件を満たしていないため、事業実施ができなかった。	—
移住・定住促進啓発事業（ようこそ竹田へ）	H27.10 ～ H28.3	移住・定住向けの竹田魅力を発信するDVDの作成	映像を閲覧した人の移住・定住相談件数10件	企画情報課	竹田市の魅力を伝えるための新たなPR映像を作成。全国移住ナビ、市のHPやYouTubeなどで公開。 制作:株式会社博報堂DYメディアパートナーズ 4,968,000円	動画公開 H28.5.21 ダイニングアウトのHPやフジテレビ「ホウドウキョク」で放送

□28 繰地方創生加速化交付金

事業名	事業期間	事業の概要	事業K P I	所管課	事業実績の概要	実績K P I
日本一ブランド戦略プロジェクト (単独事業分)	H28.3 ～ H29.3	<p>■全国レベルの農産物に竹田ならではの付加価値を付ける「プレミアムブランディング」の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本一のサフラン希少価値向上プロジェクト ・たけたゴールデンかぼすプロジェクト ・日本のパイオニア竹田しいたけプロジェクト ・日本一ブランド化&流通戦略会議 <p>■地元の製品の知識を高め、生産者が自信を持って売れる「知産知消」の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・竹田食育“地域の宝”プロジェクト ・「夢を育む・農村のまち竹田市」としての情報発信による消費者へのアプローチ <p>・国 25,000 千円 市 2,116 千円 計 27,116 千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新規栽培戸数の増 3 戸増 ・知産知消マイスターの人材育成 5 人 ・新商品、新食品の開発件数 2 件 ・専用 HP の立上げ 1 本 	農政課・ 保険健康課		
“人間磁場”が渦巻く「竹田クリエイティブ・シティー」構想の実践 (単独事業分)	H28.3 ～ H29.3	<p>■「メディカル・ファッション」学院構想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エビデンス調査 <p>■竹田草木染め学院構想 紺屋の里 Project.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・染め製品の開発、販売 <p>■竹田市 T A O 芸術村 & 和太鼓学院構想</p> <p>・国 40,000 千円 市 3,781 千円 計 43,781 千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・移住人口の増 10 名 ・雇用の創出 3 名 ・観光入込客数の増 ・新商品の開発及び地域プログラムの創出件数 5 件 	企画情報課 観光課 直入支所		

<p>地域就農システム確立事業 (広域連携事業)</p>	<p>H28.3 ～ H29.3</p>	<p>■「新たな担い手への優良農地の提供」、 「空き家バンク情報などと連携」し、担い 手の確保から、育成、農地確保、就農、居 住までワンストップで対応する地域就農 システムを確立</p> <p>・国 10,000 千円 市 244 千円 計 10,224 千円</p>	<p>・就農学校及 びファーマー ズスクールか らの就農者数 5 名</p>	<p>農林整備課</p>		
<p>ものづくり産業 地域連携推進事 業</p>	<p>H28.3 ～ H29.3</p>	<p>■生産性及び付加価値の向上、国内外販 路開拓 〈負担割合・補助上限〉 ・県 1/4・5,000 千円、市町村 1/4・5,000 千円、事業者等 1/2、補助対象経費上 限 20,000 千円</p>	<p>中小製造業の 製造品出荷額 工業：10.4% 食品：5.5% (伸率)</p>	<p>企画情報課 商工観光課</p>		